

最上位目標 「子どもの Well-being の実現」

学校教育目標 「心豊かに、自他を高め、章を成す」

～変化に向き合い、信頼される優しさを持ち、社会に貢献する～



SEISHO PRESS

Trying for your dreams

佐賀市立成章中学校

学校だより 第5号

令和8年5月20日

文責 校長 馬郡直樹

5月全校朝会 開催

これもいじめですか？

5月12日(火)の全校朝会では、生徒たちが安全であり、かつ安心して学校生活をおくることができるように、成章中学校のいじめの対応等について校長から話をしました。本校では、法律、市及び成章中いじめ防止基本方針に沿って、学校全体でいじめの対応を行っています。中学生の時期は、周囲との関係性や自分の立ち位置に敏感になり、時に相手の気持ちに配慮せず、相手を嫌な気持ちにさせてしまうこともあります。学校は社会でよりよく生きていくために人間関係についても学ぶ場所でもあることから、基本的には自力解決をしてほしいと考えていますが、行為や生徒の状況は様々ですので、学校が話を聴いたり、関係生徒の間に入ったりしながら、解決に導くこともあります。以下にいじめの対応等を記載していますので、保護者の皆様には、学校の方針等をご理解いただき、保護者と学校が同じ方向を向いて、全ての生徒が成長できるよう促していただければと思っています。以下、全校朝会での校長の話の概要です。

1 いじめの定義（いじめ防止対策推進法から）

心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの

⇒ 故意であるかどうか関係なく、言葉や動作によりされた人が心や体に苦しみなどを感じるもの

2 いじめの例とその対応（参考：東京都教育委員会いじめ総合対策）

レベル	行為の故意性・意図性	具体例	対応
1	好意で行った言動	発言に苦手な友人に、「Aさんも意見を言いなよ」と促した。	親切さを認めた上で、発言が苦手な友人の気持ちを考えさせる。
2	意図せず行った言動	サッカーの授業でシュートを外した友人に、「しっかりシュート決めて！」強く言った。	何気ない言葉が相手を傷つけることもあることを説明する。
3	衝動的に行った言動	うっかりぶつかってきた友人に、軽く体当たりし、にらんだ。	暴力は許されないことを指導し、カッとなった時の対処法を身につけさせる。
4	故意に行った言動①	友人に対して、悪口を言ったり、無視したりした。	背景について聞き取りをし、指導する。
5	故意に行った言動② (犯罪行為に該当)	・SNSに友人の顔を加工した画像を掲載した。 ・友人に金銭を要求した。 ・友人に殴るなどの暴行を行い、けがをさせた。	警察や関係機関等と連携しながら対応し、指導を行う。

- ・いじめの被害に遭ったり、いじめを発見したりした場合は、信頼できる大人に相談すること
- ・自分たちの力で折り合いをつけながら、解決することが大事（社会では自力解決が必要）
- ・多様性を受け入れながら、自分で判断しながら生きていくことが大事
- ・学校は生徒たちを支援して育てる場所であり、安易に罰を与えて指導していく場ではない

3 現在のいじめ

- ・ いじめの被害者が不登校になり、加害者に対して多額の賠償請求があったケースも
- ・ 近年は SNS(ネット)上でのいじめが増えているようである。
- ・ ひどいいじめには、被害者・加害者・観衆者・傍観者が関わっていることがある。

4 いじめをしたらどうなるか

- ・ 罪に問われることもある。(暴行罪、脅迫罪、侮辱罪、名誉棄損罪など)

5 いじめをしないためには

- ・ 普段から、人を不快にさせていないか振り返ったり、想像力を働かせたりして、生活することが大事
- ・ 傍観者の中にはいじめを止めたいと思っている人がいる。自ら行動を起こすことが大切。一人が動けば、周りがついてくる。みんなで仲裁者になろう。

6 まとめ

- ・ 気になることや悩みなどあれば、気軽に相談してほしい。担任の先生に限らず、どの先生でも OK
- ・ いじめをなくして、安全安心で、笑顔あふれる成章中学校にしていこう。

※ 保護者の方には、学校の方針にご理解していただき、保護者と学校が同じ方向を向いて、全てのお子様の成長を促していただければと思っています。

《大雨・雷の対応についてのお願い》

立夏を過ぎたあたりから、気温が高い日が多くなってきました。それに伴い、今後、ゲリラ豪雨や雷により、生徒の登下校時に危険性が高まる場面が想定されます。5/12(火)の全校朝会の折にも、校長から生徒へ、登下校時に豪雨や落雷などにより自身の身に危険を感じた際は、躊躇なく自宅や学校へ引き返すか、安全な場所に退避することを伝えました。学校は、雷雨等で危険性が高まる前に状況を把握し、登校時間を遅らせる等の対応をすることとしています。もし、お子様が登下校時に危険を感じた時は、命を守る行動を最優先にするよう指導していきますので、ご家庭でもお声かけをお願いします。また、荒天による登校時刻・下校時刻の変更等は、緊急メールやリーバーで行いますので、登録等よろしくをお願いします。

「心の輪」に感謝ーグラウンドの草取り実施 (SSC 主催)

Seisho
news

5/16(土)の早朝、SSCが主催してグラウンドの草むしり作業を行いました。休日早朝にもかかわらず、総勢200名を超える生徒・保護者・教職員が参加しました。ありがとうございました。

参加者全員が力を合わせたおかげで、美しいグラウンドになり、おかげさまで週末の体育大会が素晴らしい環境で実施できると思います。

学校に限らず、社会では、誰かの「見えない手」によって支え合っています。つまり「誰かが見えないところで頑張っている」ということ。そのことに気づき、

そして感謝する気持ちを大切にしたいものです。今回参加できなかった生徒も、「自分ができる時できる形で貢献する」という思いをもってもらえれば幸いです。保護者の皆様には、引き続き子どもたちの笑顔のために、温かいサポートをよろしくお願いいたします。

写真は配布した学校
だよりでご確認ください。